

# 学力向上に係る効果的事例

【杉戸町教育委員会】

## 1 本校の現状と課題

25年度埼玉県小・中学校学習状況調査の結果から、どの教科もおおむね県の正答率を上回っていることがわかった。一方で、保護者アンケートの結果などから、「家庭学習の習慣が身に付いていない」という項目に課題があることもわかった。そこで、本校では、「学ぶ意欲を高める指導方法の研究～自分の思いや考えを表現し伝え合う力の育成を通して～」という研究主題を設定し、確かな学力の育成のために、引き続き授業改善を図ると同時に、生徒一人一人の学習習慣の確立を目指し、学校全体で取り組んでいる。

## 2 取組内容

- (1) 「学ぶ意欲を高める指導方法の研究」のために、教員一人一回以上の研究授業・相互参観授業を実施し、一人一人の指導力の向上を図る。
- (2) 日々の学習内における言語活動を重視し、様々な場面においてできるだけノー原稿で発表できる生徒を育成する。例) 全校朝礼・学年朝礼などでの発表、合唱祭におけるクラス紹介など
- (3) シラバスを活用し、生徒の自己評価能力を高める。
- (4) 漢字・計算等の基礎学力テストを実施するなどして、基礎学力の定着を図る。
- (5) 「授業の約束10か条」を明示し、学習規律の定着を図る。
- (6) 「授業の約束10か条」に対して、年3回の「授業態度アンケート」の実施。
- (7) Eラインズ（学校や家庭で学習できる学習支援オンラインコンテンツ）を活用し、プリントなどの学習素材の提供に努める。
- (8) 夏休み中や、定期テスト前の期間に、各自が自習しながら教員が生徒の質問に答える学習相談の実施。  
(右下の写真)
- (9) 落ち着いた学校生活や充実した学校生活が学力向上に密接に結びつくため、生徒会が中心となり「生活の約束10か条」を制定した。今後は徹底に向けて取り組む。



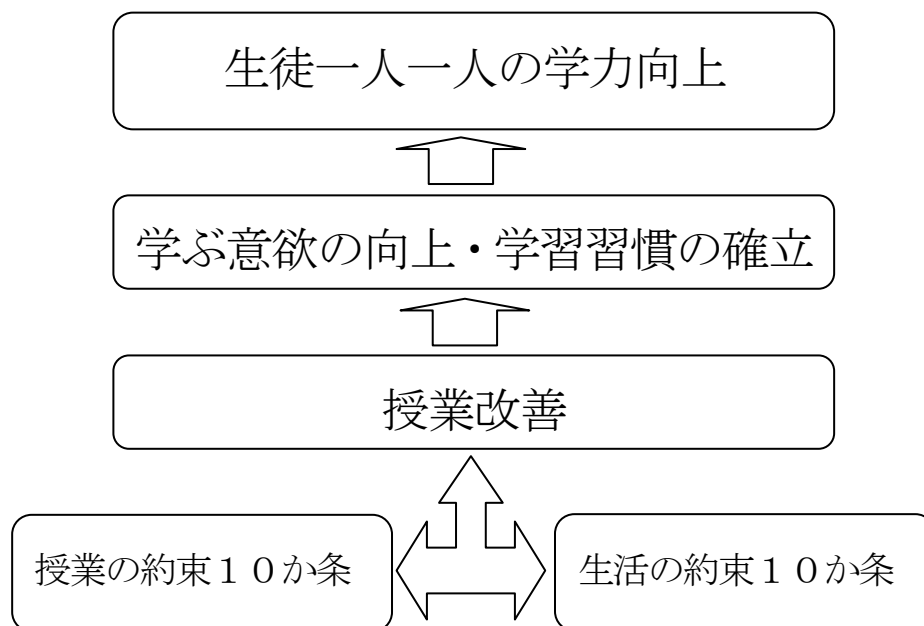
### 資料1（授業の約束10か条）

- ①休み時間中に教科書やノートを机に出しておこう。
- ②時間着席を守ろう。
- ③授業の始めと終わりでは、大きな声で挨拶をしよう。
- ④正しい服装、正しい姿勢で学習に取りくもう。
- ⑤目標をもって授業に臨もう。
- ⑥積極的に授業に取り組み、わからないことは質問しよう。
- ⑦手を挙げて、指名されてから発言しよう。
- ⑧先生の話や友達の発言を、じっくり聞こう。
- ⑨授業の内容をノートにわかりやすく整理しよう。
- ⑩宿題や提出物は、必ず提出しよう。

### 資料2（生活の約束10か条）

- ①元気なあいさつ ○○中スマイル
- ②時計見て 自ら動こう 2分前
- ③わきまえよう「親しき仲にも礼儀あり」
- ④整えよう「身だしなみは心の鏡」
- ⑤どんな物にも 感謝の気持ち
- ⑥守っていこう 交通マナーと自分の命
- ⑦学校も 自分の心も きれいに清掃
- ⑧忘れず行動 けじめと責任
- ⑨続けよう「早寝 早起き 朝ごはん」
- ⑩思いやり 仲間と協力 気遣う心

## ※取組のイメージ



### 3 成果と課題

前期の教職員自己評価における、「学習意欲の高揚」「学習・学業指導の充実」という項目では、目標値を達成している項目が多く、教職員が一丸となって取り組んでいる成果であると考えます。

また、「授業の約束10か条」に関する生徒アンケート結果では、ほとんどの項目において70%~90%で、規律ある授業が行われていると判断できる。特によかった項目は、「正しい服装・姿勢」「手を挙げて、指名されてからの発言」「先生の話や友達の発言を聞いている」「ノートまとめ」「提出物」の5項目で、85%以上の生徒が達成している。しかし、「積極的に授業に取り組み、わからないことは質問しているか?」では、30%の生徒が、「あまりできていない」「できていない」と答えた。また、「目標を持って授業に取り組んでいるか」と「授業の始めと終わりのあいさつ」の項目で、「よくできた」と答えた生徒が他項目に比べ少なかった。これらが今後の課題である。

「生活の約束の10か条」は、生徒一人一人から意見を聞き、何度も話し合いを繰り返し、今年度生徒総会により制定された。アンケートなどによる達成度調査等はまだ行っていないが、全教室に掲示するなど、教職員や生徒の目的意識が高まったように感じる。

家庭学習支援に関しては、教科毎にドリル教材をプリントし、ファイリングをしたが、あまり活用されなかった。

### 4 今後の取組

本年度も取り組んできた教師の授業力向上や家庭学習支援については、今後も引き続きその充実に向けて取組を工夫するが、その具体策としては以下のようなことが挙げられる。

- ・長期休業中や、テスト前に行っている学習相談をさらに充実させていく。
- ・質問を受け付ける時間を授業時間に確保していく。
- ・学級委員会等を活用し、「授業評価向上の取組」や「挙手キャンペーン」などへの取組を企画していく。
- ・生徒議会などで「授業の約束10か条」や「生活の約束10か条」における課題を明らかにし、学校全体で徹底に向けた取組を行っていく。